

## トマト黄化えそウイルス (TSWV) による野菜・花き類の病害

### <トマト>



葉に黒色のえそ輪紋を生じる。



重症株では、葉や茎に多数のえそ斑を生じ黄化枯死する。

### <ナス>



葉に生じた大型のえそ輪紋。



えそ斑点が多数形成される場合もある。

### <シネラリア>



全身的なモザイク症状。



葉に生じた黒褐色のえそ輪紋。

# トマト黄化えそウイルス（TSWV）

## による野菜・花き類の病害

近年、トマト黄化えそウイルス（TSWV）による野菜・花き類の病害は、全国的な規模でその被害が報告されている。

東京都においても、トマト、ピーマン、トウガラシ、ナス、シネラリア、マリーゴールドおよびダリアから、TSWVが検出されており、その被害および発生分布が拡大している。

伝染源：アザミウマ類により伝搬される。

宿主植物：本ウイルスは宿主範囲がきわめて広い。特に、ナス科、キク科、マメ科では全身感染し、激しい病徴を示すものが多い。

### 防除対策

- (1)アザミウマ類の防除を徹底する。また、施設では、アザミウマ類の侵入を阻止する。
- (2)圃場周辺ではTSWVの伝染源となる植物を植栽しない。また、圃場内外の除草を徹底する。
- (3)発病株はただちに抜き取り、焼却処分する。
- (4)本ウイルスは感染していても、植物の種類や環境条件等によっては、外見上健全であったり、明瞭な病徴を示さないことがある。この場合、本圃への定植後や出荷流通後に発症することがあるので、育苗時の防除を徹底するとともに、外部から施設や圃場へ植物を持ち込む際には、十分な観察を行い、特にアザミウマ類の寄生および吸汁痕の有無に注意する。

### 写真解説

- (1)トマト：葉に不整形で黒色のえそや褐色～黒色のえそ輪紋を生じる。重症株は、成長点付近の葉や茎が黄化し、萎凋、枯死する。
- (2)ナス：葉にえそ輪紋や、黒褐色、円形のえそ斑を多数生じる。発病葉は、えそを生じた側の葉縁から巻き上がり、黄化する。後に発症葉は葉柄基部から離脱、落葉する。重症株は下位葉から萎凋し、株全体が枯死する。
- (3)シネラリア：明瞭なモザイク症状や、円形～小判形で黒色のえそ斑、葉縁からのV字形～U字形の枯れ込みなど数種の症状が観察される。発症葉はいずれも黄化し、慢性的に萎れるが、上位葉での発症や、株全体が枯死することはなく、花蕾形成や開花は正常に行われる。